

佳作

夏の音

鹿児島県 鹿児島市立広木小学校二年 瀬戸口 結仁

「ミンミンミンミー。」

「今年もセミがなきはじめだね。」

夏のはじまりです。夏はぼくの大すきな音がたくさんあります。

まずは、セミのなき声。あさになると、いっせいに、

「ミンミンミンミー。」

と大きな声が家の中まで聞こえてきます。外に出ると、一本の木に十ぴきぐらいとまって羽をふるわせていました。セミのぬげがらも木の下にたくさんおちています。セミのがんばっているすがたを見ると、あついけどぼくもがんばろうと思います。

つぎにすきなのは、かきごおりの音です。

「シャラシャラ：シャリシャリ。」

こおりがけずられていく音を聞いてみると、ずずしくなっていくきます。こおりを一口くちに入れると、

「キーン。」

つめたくて頭にひびいてきます。大すきなメロンシロップがかかるとキラキラ光って、ほう石みたい。かきごおりが大すきで、えがおになります。

「ザザー：ザザー：。」

これは、海のなみの音です。すなはまはとてもあつけれど、海に足を入れるととってもつめたくなります。海では、およいだり、ヤドカリをつかまえたり、魚のかんさもして一日中あそべます。

「ゴーツ。」

つぎは空です。ぼくは夏になると、ひこうきにのっておじいちゃんの家に行きます。空こうでは大きなにもつをもった人がいっばいで、みんなえがおではなしをしたり、おみやげをかったりしています。

「ごとうじょうのあんないです。」

ひこうきのせきにすわったら、いよいよりりくです。

「ゴーツ」

という音がしたら、どんどんスピードが上がって、フワツとういたら空の上です。そしてさくらじまに、

「いってきます。」

と言います。

さいごは、ぼくのいちばんすきな音です。

「ヒュルルルー、ドーン。」

体中にひびく花火の音。ドーンと聞こえたあとは、目の前いっぱい色とりどりのお花がさきます。

「シューワ：パラパラ：。」

とさいごに聞こえる音は、さみしくなりますが、さいごまできれいでジーンとなります。

夏は、ワクワクする音、ドキドキする音、いろいろな音があふれています。らい年の夏はどんな音が聞こえてくるのかな。ぼくの大すきな夏、またらい年。